

熊本県立劇場 指定管理者 令和6年度（2024年度） 管理運営評価票
 所管部局：観光文化部観光文化政策課

I 施設の管理概要

指定管理者名	公益財団法人熊本県立劇場
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設概要	1 目的:県民の文化の振興 2 施設概要 ・コンサートホール 収容定員 1,810人 ・演劇ホール 収容定員 1,172人 ・大会議室 収容人員 162人（机・椅子使用時）、380人（椅子のみ使用時） ・その他 和室、リハーサル室、第1～3練習室 駐車場(普通車496台、バス5台)、駐輪場(約150台)
指定管理料	466,336,000円（令和6年度分）

II 管理運営の評価

1 管理運営業務の水準

管理業務の水準の指標	目標値	実績値	差	備考
県劇入場者数	530,000人	459,225人	-70,775人	対前年度 +126,650人
文化事業入場者・参加者数	28,000人	40,910人	+12,910人	対前年度 +15,633人
コンサートホール利用率	74.0%	77.5%	+3.5ポイント	対前年度 -3.8ポイント
演劇ホール利用率	82.0%	83.3%	+1.3ポイント	対前年度 -3.8ポイント

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設維持管理業務実績

作業項目		実施頻度	備考	
業務名	業務内容			
清掃業務	日常清掃	事務室等6項目	使用のつど～1回/1～2日	仕様書に沿って適正に実施
	定期清掃	事務室等4項目	2回/月～4回/年	仕様書に沿って適正に実施
高所清掃業務	ガラス清掃		4回/年	仕様書に沿って適正に実施
水質管理	水質検査(市水)	残留塩素測定等3項目	1回/週～年	水道法水質基準に適合
	水質検査(井水)		1回/年	水道法水質基準に適合
	受水槽等清掃		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
環境測定	空気環境測定	40カ所	6回/年	測定結果問題なし
	アスベスト濃度測定	2カ所(1カ所閉鎖)	1回/年	測定結果問題なし
衛生管理	特定建築物維持管理実績報告		1回/月	仕様書に沿って適正に実施
	害虫駆除		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	汚水ピット清掃		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
警備業務	常駐警備業務		全日	仕様書に沿って適正に実施
	駐車場整理用務		必要時	仕様書に沿って適正に実施
設備維持管理	総括管理、運転監視、日常巡視点検	設備40項目	1回/週～4回/年	点検結果問題なし
	高圧受電設備保安点検		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
	非常用発電機	法定点検等2項目	1～2回/年	点検結果問題なし
	電気設備点検	法定点検等4項目	1～2回/年	点検結果問題なし
	空調設備保守点検	冷温水発生機等15項目	1回/月～4回/年	仕様書に沿って適正に実施
	中央監視装置、自動制御機器保守点検	受電制御、動力制御、電灯制御他	中央監視装置総合1回/年 空調機器1回/年	点検結果問題なし
	昇降設備保守	エレベーター4基	4回/年	点検結果問題なし
	消防用設備保守点検	自動火災報知機、消火器、誘導灯他	総合点検1回/年 外観点検2回/年 他	仕様書に沿って適正に実施
	防火設備定期検査		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
	建築設備定期検査		1回/年	検査結果問題なし
	特定建築物等定期検査		1回/3年(直近実施:R4)	仕様書に沿って適正に実施
	特定防火対象物報告		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
	自動ドア保守点検		4回/年	点検結果問題なし
	煤煙測定業務		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	給湯ボイラー保守点検		1回/年	令和5年度点検不要
	緊急ガス遮断装置保守点検		2～3回/年	点検結果問題なし
その他の設備維持管理	有料駐車機保守点検		4回/年	点検結果問題なし
	施設予約管理システムソフト等保守		問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
	舞台吊物保守点検		3回/年	仕様書に沿って適正に実施
	舞台迫り保守点検		3回/年	仕様書に沿って適正に実施
	舞台照明システム保守点検		2回/年+問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
	舞台音響システム保守点検		2回/年+問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
楽器類保守点検	ピアノ	4種類	1回/年+(調律3回/年)	仕様書に沿って適正に実施
	チェンバロ		1回/年	点検結果問題なし
一般廃棄物	廃棄物処理業務		日曜、祝祭日を除く毎日	仕様書に沿って適正に実施
植栽等管理	樹木管理業務	駐在作業等9項目	随時～3回/年	仕様書に沿って適正に実施
その他	トイレ洗浄器・消臭器(詰め替え)	洗浄機 64カ所 消臭器 29カ所	1回/2ヶ月	仕様書に沿って適正に実施
	玄関マット等交換		1回/2週	仕様書に沿って適正に実施
	貸植木メンテナンス		1回/月	仕様書に沿って適正に実施
【点検・調査結果及び評価】				
・維持管理業務は適正に実施されており、安全・清潔・快適な劇場の施設・設備の提供が行われた。				

(2) 文化事業の実績

I 創造拠点事業

1) 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
劇場人育成プログラム				
4/26 (金) 大会議室	概論 「地方の基礎自治体における文化政策の課題とホールの役割」	公共ホール職員を対象とした研修事業。兵庫県立芸術文化観光専門職大学副学長の藤野一夫を招き講演会を行った。ドイツの事例や劇場に関する法律、自治体の文化政策の例をもとに、ホールが抱える課題や観光資源と文化のマッチングについて多角的な視点から考えた。	無料	55
6/12 (水) 中会議室	アートマネジメント (1)、(2) 社会包摂	講師に国際障害者交流センタービッグ・アイの鈴木京子と上岡亜希を招いて研修。(1)では各障害の特性と工夫する支援について座学形式で学んだ。(2)では障害者の文化芸術活動に関する法律と合理的配慮を、座学とグループワークの両面から研修を行った。	無料	49
6/25 (火) コンサート ホールホワイエ	ホール入門 (1) 危機管理 (BCP 対策) - 1	MS&AD インターリスク 総研株式会社の工藤伸介と小島勝治を迎え、BCP (事業継続計画) の基本的な考えおよび作成ポイントに関する研修を実施。	無料	25
7/9 (火) コンサート ホールホワイエ	ホール入門 (2) 危機管理 (BCP 対策) - 2	6月に引き続き、工藤信介と小島勝治を講師に迎え、災害時の危機管理における課題と対策についてグループワークを実施。	無料	16
7/18 (木) 演劇ホール	舞台技術 (1) 音響	全国の公共ホールに携帯電話抑止装置を設置している株式会社テレ・ポーズの滝川政志を講師に迎え、ワイヤレスマイク、Wi-Fi、携帯電話抑止の基礎とその仕組みを学び、携帯電話抑止の体験や電子レンジを使った電波の実験を行った。	無料	24
9/25 (水) 大会議室	ホール入門 (3) 接客	講師は株式会社インソースの岩波美香。これまでの成功・失敗体験を振り返り、多様な場面・顧客に合わせたおもてなしを実現するために必要なホスピタリティマインドについて学んだ。	無料	16
10/30 (水) コンサート ホール	舞台技術 (2) ピアノ管理	熊本県立劇場指定調律師でもある株式会社ピアノハーブ社の内川明を講師に迎え、ピアノの取扱いとメンテナンスについて学んだ。	無料	23
R7.2/14 (金) 中会議室	アートマネジメント (3) 舞台製作に関する契約講座	弁護士の岡本健太郎を講師に迎え「契約」をテーマに研修会を行った。契約全般から昨年施行されたフリーランス法についての解説を行った後、文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドラインに基づき、具体的な契約内容とは何かについて考えた。	無料	15

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
舞台技術の基礎講座				
R7.1/18(土)、 19(日) 男女共同参画 センターはあ もにい	舞台技術の基礎講座	機材等に触れながら舞台技術の基礎を学ぶ高校・大学・専門学校生向けの講座。劇場舞台スタッフと「はあもにい」スタッフが講師を務め、1日目は舞台機構の見学後専門用語や機材について学び、2日目は国府高校チアダンス部の模擬公演を、実際の仕込み～リハーサル～本番～撤収作業まで体験した。 【取材:熊日】	[受講料] 2,000	36
東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト				
5/25(土) コンサート ホール	東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト ～ピアノ部門～	東京藝大講師による小4～中2対象の公開レッスン。講師は准教授でピアニストの上原彩子。公募で選ばれた受講生が福岡から3名、熊本から2名参加(応募は11名)。最後に受講生発表会と、現役藝大生によるコンサートも実施した。	無料	72
ジュニアオーケストラ事業				
8/23(金) ～25(日) アクロス福岡	北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル	福岡と長崎、大分、熊本のジュニア/ユースオーケストラが一堂に会し、交流する事業。昨年8月の熊本でのミュージックキャンプに続き、今年度はアクロス福岡での特別演奏会を実施した。下野竜也の指揮のもと、3日間の集中リハーサルを経て、総勢150人による演奏を披露した。	[自由] 一般1,000 学生500	1,114
通年 練習室	熊本ユースシンフォニーオーケストラ練習	ジュニアオーケストラ事業に参加している熊本ユースシンフォニーオーケストラの練習。	—	2,907
けんげきキッズプログラム				
6/22(土) 演劇ホール	絵本のじかんだよ!	俳優・小林顕作による絵本の読み聞かせ。目標集客数の175%を達成。小林ならではの温かい雰囲気、パフォーマンスも交えながら楽しい読み聞かせを展開した。冒頭に遅れ客への配慮もなされ、アンケートでも高い評価が多く見られた。	[指定] おとな 1,000 こども 500	1,225
6/29(土) 演劇リハーサル室	古家優里ダンスワークショップ	午前中はあかちゃんとその保護者を、午後は小学生を対象にワークショップを実施。名前を呼びあったり、体をほぐしてみたり、オリジナルの動物を考えてみたりと踊る以外の活動もあり、終始笑いの絶えないワークショップとなった。	[参加費] 500	30
R7.3/2(日) 演劇ホール	行くぜ!劇場探検隊	劇場や舞台芸術に興味をもってもらおうと、演劇仕立てのバックステージツアーを開催。子どもたちは劇団きららの団員らが扮する探検隊チームの一員として舞台裏を探検し、音響体験・照明体験・迫に乗る体験をした。今回から第2部の演劇パートを刷新し上演した。 【取材:熊日】	[参加費] おとな 1,000 こども 500	41

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
部活動等支援事業				
通年 コンサート ホール 演劇ホール	部活動等支援事業	青少年の芸術文化活動を支援するため、学校等の部活動またはサークル活動に対しホール使用料を助成する事業。実施初年度となる R6 年度は 12 団体を支援した。	—	2,953
バックステージツアー事業				
通年 コンサート ホール 演劇ホール	バックステージツアー事業	近隣の小学校や放課後デイサービス、建築を学ぶ大学生らを対象に、全 6 回のバックステージツアーを実施した。	無料	212
創造拠点事業 1) 計				8,813

2) 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
ネットワーク事業				
4/24 (水) 中会議室	担当者説明会	7 月から 13 市町村で順次開催するネットワーク事業の担当者に向けた概要説明と打合せを行った。12 市町村が参加。	—	17
7/7 (日) 菊池市文化会館	桂宮治	落語家桂宮治の独演会。近隣の商業施設をネタにした枕から「たらちね」、「蛙茶番」、「江島屋騒動」を披露した。	[指定] 2,500	776
7/13 (土) あさぎり町須恵文化ホール	三遊亭好楽	落語家三遊亭好楽一門による落語会。三遊亭好楽が「道具屋」を、益城町出身の三遊亭好一郎が「味噌豆」「ねずみ」を、三遊亭好楽が「つる」を披露した。	[自由] 大人 1,000 中学生以下 500	500
7/28 (日) 宇土市民会館	林家たい平	落語家林家たい平一門による独演会。林家さく平が「初天神」を、林家あずみが三味線漫談、林家たい平が「猫の災難」、「長短」を披露した。	[指定] 一般 2,500 ペア 4,000	651
9/21 (土) 荒尾総合文化センター	清和文楽肥後アマビエ戀歌異聞	「寿式三番叟」で賑々しく幕が上がり、続く「肥後アマビエ戀歌異聞」では、華やかな人形による切ない恋物語が繰り広げられた。	[自由] 1,000	168
9/29 (日) ウイングまっばせ	絵本 de クラシック 「オズの魔法使い」	絵本のスクリーン投影に合わせた金管アンサンブルの演奏と声優による朗読、演目は「オズの魔法使い」。0 歳から多くの子どもたちが来場し、ジブリやディズニー等の耳なじみのある曲も演奏され、会場は大いに盛り上がった。	[指定] 大人 1,000 子ども 500	457
9/29 (日) 桜十字ホール やつしろ	声優音楽劇フォアレーゼン「黒いリボンの葬列」	人気声優梶原岳人、山口智広、坂田将吾による朗読劇。ピアノの生演奏をバックに、約 1 時間の朗読を届けた。朗読劇終了後の声優陣によるトークコーナーもあり、充実した内容となった。	[指定] 一般 4,000 高校生以下 1,000	372

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
10/11(金) 水俣市文化会館	和楽器演奏集団独楽	地元の中学生 450 名を招待し開催。一般客は 90 名程度の集客。和楽器の演奏とエンターテインメント性溢れるトークで会場は大いに盛り上がった。最後は中学生を舞台に上げ太鼓のワークショップを実施。アンケートでは「楽しかった」「また来て欲しい」等の声が聞かれた。	[自由] 1,000	542
10/14(月祝) 天草市民センター	日本民俗音楽芸能集団あべや	日本民俗音楽芸能集団あべやによる邦楽公演。民謡や三味線、舞やトークをお客様は楽しんだ。「牛深ハイヤ」や「おてもやん」が演奏されると、口ずさんだり身体を揺らしたりながら音楽を楽しむお客様の姿が多くみられた。	[指定] 一般 2,000 高校生以下 1,000	166
11/30(土) 御船町カルチャーセンター	絵本 de クラシック 「くるみ割り人形」	子どもから大人まで一緒に楽しむことができる「絵本 de クラシック くるみ割り人形とねずみの王さま」を実施。朗読と生演奏で楽しむ演奏会で、岡村明美氏のナレーション・演技に観客も圧倒され、親子で演奏と共に演出を楽しむ様子が多く見られた。	[指定] 大人 1,000 こども 500	306
R7.1/18(土) 益城町文化会館	石井琢磨	YouTube やストリートピアノでも注目されている、人気ピアニスト石井琢磨の熊本公演。「クラシックを身近に」がテーマ。耳馴染みのある作品を中心としたプログラムと石井の軽快なトークに、会場は盛り上がりを見せた。今注目のピアニストということもあり、チケットは早々に完売した。	[指定] 一般 4,000 会員 3,500	433
R7.2/16(日) 牛深総合センター	和楽器演奏集団独楽	ゲストに津軽三味線の本田浩平を迎え実施。様々な和楽器の演奏と歌、軽妙なトークに来場者の楽しんでいる姿が見えた。アンコールでは、地元高校生が歌、お囃子と踊りを会館職員が披露し、会場が大いに盛り上がった。	[指定] 一般 2,000 高校生以下 無料	214
R7.2/23(日) 熊本市現代美術館ホームギャラリー	プロジェクト大山	まもなく設立 20 周年を迎えるカンパニーの代表作 2 作品と新作の計 3 演目を披露。転換にはジャズコンサートを挟み、プロジェクト大山の独特な世界観が存分に発揮されたステージとなった。	無料	180
R7.2/24(月振休) 菊陽町図書館ホール	栗コーダーカルテット	「小組曲ピタゴラスイッチ」などのなじみの曲やカバー曲が披露される中、親子三世代といった幅広い客層が演奏を楽しんだ。口琴などの珍しい楽器が登場すると、会場からは感嘆の声が上がった。	[指定] 大人 1,000 中学生以下 500 親子ペア券 1,200	445
舞台芸術コーディネート事業				
10/17(木) コンサートホール	附中文化の日	熊本大学教育学部附属中学校芸術鑑賞会のコーディネートを実施。三遊亭好一郎(益城町出身)による落語を楽しんだ。落語の歴史について学んだほか、実際に小話を演じる体験コーナーでは 12 人の生徒が参加し、興味・関心がより深まった。	—	494
10/26(土) こども本の森熊本	こども本の森熊本コンサート	こども本の森熊本からの依頼を受けコンサートをプロデュースした。当日はヴァイオリンの黒葛原康子、クラリネットの春日香南、ピアノの吉田秀晃が出演し、絵本にちなんだクラシック音楽や、ディズニーやジブリ作品の音楽を演奏した。	—	65

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
11/23 (土祝) 芦北町地域活性化センター	芦北町演奏会	芦北町の依頼によりアウトリーチの協力アーティストによる演奏会。今回で3回目。コントラバス奏者の亀子政孝が所属する「長崎 OMURA 室内合奏団」から弦楽五重奏をコーディネート。楽器の仕組みや参加型のリズム遊びなどを盛り込んだプログラムで、満席の観客は大いに楽しんだ。	—	126
R7.2/2 (日) こども本の森熊本	こども本の森熊本コンサート	こども本の森熊本からの依頼を受け、箏奏者の小路永和奈によるコンサートを実施した。春の唱歌メドレーや、アンパンマンのマーチなど、こども向けの作品から本格的な箏の独奏曲まで、幅広いプログラムを届けた。	—	46
創造拠点共催事業				
6/29 (土) コンサートホールホワイエ	公開シンポジウム 「トロイの英雄エネアス：18世紀後半、イタリアにおける古代への熱狂とオペラ」 主催：熊本大学教育学部	熊本大学教育学部授業（音楽学）で楽譜校訂を実施した、ニコロ・ピッチニニ作曲のオペラ《クーマのエネアス》序曲の世界復活初演を記念したシンポジウム。跡見学園女子大学教授の河村英和が美術史、熊本大学教育学部音楽科准教授の山田高誌がオペラ史の観点から本作品を解説した。	無料	60
8/4 (日) 演劇ホール	創立90周年記念 第70回 藤豊會 主催：藤豊會	藤間富士齋と藤間豊太郎が主宰する藤豊會の90周年を記念した日舞の公演。特別出演の六世家元勘右衛門をはじめ、約40人が出演した。創作舞踊や祝儀ものの清元などが上演され、その優美な姿で観客を魅了した。	[一部指定] 指定 7,000 自由 4,000	1,000
8/11 (日) コンサートホール	熊本ユースシンフォニーオーケストラ 第55回定期演奏会 主催：熊本ユースシンフォニーオーケストラ	創立60周年記念の演奏会。ベートーヴェン：交響曲第1番、ストラヴィンスキー：火の鳥、シベリウス：交響曲第5番という骨太なプログラムの演奏をやりきったオーケストラに、会場からは大きな拍手が贈られた。	[一部指定] 指定 2,000 自由 1,500	1,100
11/2 (土) コンサートホール	熊本県新人演奏会 主催：熊本県文化協会	熊本県文化協会が実施する第62回熊本県新人演奏会。出演者はピアノ（4名）、ヴァイオリン（1名）、クラリネット（2人）、サクソフォン（1名）、フルート（1名）、トロンボーン（1名）、ソプラノ（2名）の計12名。それぞれが演奏を披露し、観客はその音色に深く聴き入っていた。	[自由] 1,000	470
11/17 (日) コンサートホール	オハイエくまもと15周年記念コンサート 主催：オハイエくまもと	オハイエくまもとの発足15周年を記念したコンサート。ゲストに荒川ファミリー（リコーダーアンサンブル）らを迎えた。オハイエ音楽隊のステージでは、作曲家・野村誠が書き下ろした「それぞれのオハイエ」を世界初演した。 【取材：熊日、TKU、KKT】	[一部指定] A席 2,000 B席 1,500 自由 1,000	1,000
12/22 (日) コンサートホール	第38回熊本県民第九の会演奏会 主催：県民第九の会	昨年は劇場の改修に伴い中止したため2年ぶりの開催。指揮に新田ユリ、ソリストには熊本出身の河添富士子、岩本貴文らを迎えた。演奏会はシベリウス／カレリア序曲で華やかに幕を開け、続くベートーヴェン／交響曲第9番では熊本交響楽団の演奏に合わせ、約180名の公募合唱団が高らかに歌い上げた。	[一部指定] 指定 3,500 自由 3,000 学生 1,500	1,200

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
文化活動支援事業				
通年	文化活動支援事業	県内で活動する文化団体に、県立劇場での会場費相当を上限に助成する事業。熊本ウインドシンフォニーなど4団体の公演を支援した。	主催者により異なる	2,751
R7.3/19(水) 特別会議室	令和7年度採択団体 担当者説明会	採択された7団体対象の説明会。概要と提出書類などの説明を行った。	—	12
オハイエくまもと協力事業				
5/19(日) 熊本市現代美術館	第15回オハイエくまもと とっておきの音楽祭	熊本市現代美術館ホームギャラリーでの舞台進行全般に関わった。音響機材や譜面台など、コンサートに必要な機材や備品の貸与、進行表作成ならびに進行管理などの協力を行った。 【取材:熊日】	無料	283
6~11月 中央公民館ほか	野村誠ワークショップ	11月に実施された15周年コンサートのためのワークショップ。	無料	243
創造拠点事業 2) 計				14,077

3) 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
県劇盆踊り				
8/14(水) 演劇ホール ワイエ ほか	県劇盆踊り	共生の劇場(広場事業)として、劇場全職員で取り組む事業。昨年に続き、新感覚邦楽エンタテインメント集団「あべや」の生演奏で幕を開けると、県内で活動する「中山芳保会」、「牛深ハイヤ保存会」らの指導のもと、盆踊りを楽しんだ。サブステージでは、よさこいや吹奏楽の演奏の他、オープンピアノを開催し、盆踊りを盛り上げた。 【取材:熊日、朝日新聞、西日本新聞、J:COM】	無料	2,000
第66回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「ひこばえ」				
4~9月 宇土市民会館 ほか	事前稽古	鼓童メンバーの前田順康らを迎え、地元出演者への実技指導のほか、自主稽古、演出家を招いての稽古を行った。	—	210
9/8(日) 演劇ホール	第66回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「ひこばえ」	第1部では宇土の雨乞い大太鼓をフィーチャーし、伝統的な掛け声や音節を取り入れた。照明効果もあり幻想的なステージとなった。第2部はオーディションで選出された熊本県内の太鼓打ち22名が登場し、特別ゲストの鼓童メンバーと共に、本演奏会のために書き下ろされた新作2曲を奏でた。 【取材:熊日】	[一部指定] 指定 3,000 自由 2,000	845
創造拠点事業 3) 計				3,055

II 普及拠点事業

1) 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団				
5/22 (水) コンサートホール	佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団	話題のピアニスト角野隼斗をソリストに迎え、チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番、交響曲第5番を演奏した。オールチャイコフスキープログラムならではの華やかかつ重厚な演奏に、満席の聴衆からは大きな拍手が贈られた。佐渡裕と角野隼斗という、高い人気を誇る両者の共演は注目を浴び、チケットは早々に完売した。 【取材:熊日】	[指定] S 8,000 A 7,000 B 6,000	1,760
La Mère 母				
6/8 (土) 演劇ホール	La Mère 母	世界中で高い評価を受ける劇作家フロリアン・ゼレールの家族三部作のうち、空の巣症候群をかかえる母親と家族をめぐる物語『La Mère 母』は今回が日本初演となった。会場内は、セリフの応酬に観客の笑い声も聞かれ、スタンディングオベーションで幕を閉じた。	[指定] S 7,000 A 5,000	890
全国共同制作オペラ「ラ・ボエーム」				
7~10月 演劇リハーサル室ほか	事前稽古	本公演に出演するラスカーラ・オペラ合唱団、NHK 熊本児童合唱団、九州交響楽団の稽古を実施。	—	889
10/19 (土) 演劇ホール	全国共同制作オペラ 「ラ・ボエーム」	東京芸術劇場、名取市文化会館、ロームシアター京都、兵庫県立芸術文化センター、熊本県立劇場、金沢歌劇座、ミュージア川崎シンフォニーホールの7館で新演出オペラを制作・上演した。今年度いっぱいでの引退を表明している指揮者の井上道義と、井上が全幅の信頼を寄せる舞踊家・演出家の森山開次がタッグを組んだ本公演は大きな注目を浴び、7都市8公演すべてでチケット完売となった。 【取材:熊日】	[指定] S12,000 A10,000 B 8,000 C 6,000	974
小曽根真ピアノ・ソロ				
12/1 (日) コンサートホール	小曽根真ピアノ・ソロ	ジャズだけでなく、サン＝サーンスの「Danse macabre」などクラシック曲の演奏も披露。ゲストの松井秀太郎の登場に会場は大きな盛り上がりを見せた。公演終了後のサイン会では、両名のサインを求め、ホワイエに長蛇の列ができた。	[指定] S 5,000 A 4,000 B 3,000	775
パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団				
12/7 (土) コンサートホール	パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団	ドイツの名門オーケストラによる公演。ソロに第15回ショパン国際ピアノコンクール覇者のラファウ・ブレハッチを迎え、モーツァルト/ピアノ協奏曲23番や、交響曲41番「ジュピター」などを披露した。大胆でありつつも的確な解釈の演奏に、聴衆からは熱狂的な拍手が送られた。	[指定] S12,000 A10,000 B 8,000	990

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
ホワイエサロンコンサート				
5/18 (土) コンサート ホールホワイエ	Vol.8 熊本県立劇場 40 周年 記念カルテット	熊本県立劇場 40 周年記念の映像作品制作のために結成した弦楽四重奏団によるコンサート。クラシック音楽から映画音楽まで幅広いプログラムを披露し、最後には映像作品で使用した楽曲を生演奏で届けた。 【取材:熊日】	[自由] 3,000	178
10/23 (水) コンサートホール ホワイエ	Vol.9 Ensemble Horizonte	ドイツの現代音楽アンサンブルが初来熊し演奏。現代音楽はもちろん、古典的なクラシック曲も演奏され、現代音楽を聴きなれていない層の耳にも馴染みやすいプログラムとなった。また、熊本大学教育学部の稲森安太己特任准教授による新作が日本初演された。 【取材:熊日】	[自由] 3,000	92
R7.2/7 (金) 練習室	Vol.10 関連企画 カルテット・スピリ タスサクソフォンレ ッスン	応募のあった小学生～社会人まで7組11名が参加(先着順で締切)。プロのレッスンを破格で1時間受講でき、受講生は非常に満足した様子だった。	[参加費] 一般 5,000 学生 3,000	11
R7.2/8 (土) コンサートホール ホワイエ	Vol.10 カルテット・スピリ タス	高校生の団体申込もあり、定員を超える231名が来場。作曲の背景の説明も含めた軽快なトークと豊かなサクソフォンの響きを楽しんだ。アンコールでは超絶技巧曲も披露された。 【取材:熊日】	[自由] 3,000	231
普及拠点共催事業				
5/11 (土) コンサートホール	ウィーン少年合唱団 主催:RKK	世界的に抜群の人気と実力を誇るウィーン少年合唱団から、シューベルト組が来熊。J・シュトラウスⅡ《美しく青きドナウ》、ミュージカル「ウィキッド」より《エメラルドシティ》ほか、名曲の数々を美しい歌声と共に届けた。 【取材:熊日】	[指定] S 6,900 A 6,000 U-25 5,000 ファミリー 20,000	1,188
5/19 (日) コンサート ホールホワイエ	藤原道山尺八コンサ ート〈雙〉 主催:(株)DO	尺八演奏家・藤原道山とピアニスト・Keikoによるデュオコンサート。それぞれのオリジナル曲やクラシック、唱歌など幅広いプログラムを演奏した。 【取材:熊日】	[自由] 一般 4,000 学生 2,000	131
9/15 (日) 演劇ホール	第26回夏季狂言の会 主催:ノマ企画	熊本「万作・萬斎の会」が夏季の恒例行事として開催する狂言公演。狂言「蝸牛」、「牛盗人」が演じられた。公演には狂言師の深田博治による、みどころや登場人物のキャラクターについて詳しい解説もあった。	[指定] S 8,800 A 6,600 B 5,500 自由 3,000	978
12/14 (土) 演劇ホール	ミュージカル「ALICE ～不思議の国のアリス より～」 主催:熊本日日新聞社	不思議の国のアリスを題材としたミュージカル公演。華やかな歌手陣と、豪華な舞台セットで繰り広げられる舞台に、観客からは大きな拍手が送られた。	[指定] S10,000 A 8,000 B 6,000	1,150
追加事業				
8/31 (土) コンサートホール	玉名女子高等学校吹 奏楽部コンサート	県内の多くの子どもたちが全国トップレベルの演奏に触れる機会の創出を目的に、全日本マーチングコンテストの両大会で10回連続金賞を獲得し、令和6年1月に「くまもと夢づくり賞」を受賞した同校吹奏楽部のコンサートを開催した。	[指定] 事前申込 無料	1,229

R7.2/2 (日) コンサートホール	金子三勇士ピアノリサイタル	県立劇場に新しく導入されたスタインウェイ社製ピアノのお披露目公演。選定に携わったピアニスト・金子三勇士を迎え、ショパン/華麗なる大円舞やシューマン=リスト/献呈など、計8曲が演奏された。 【取材:RKK、熊日】	[指定] 2,000	1,105
普及拠点事業 1) 計				12,571

2) 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
演奏家派遣アウトリーチ事業				
4/24 (水) 中会議室	市町村担当者説明会	11市町村で順次開催する本事業の概要説明と打合せに9市町村が参加。球磨村が今年度初参加。	—	10
9月～R7.2月 美里町、八代市、球磨村、あさぎり町、産山町、芦北町、南小国町、多良木町、宇土市、水俣市、益城町	アウトリーチ	県立劇場が募集・育成した登録アーティストを市町村の小中学校に派遣し、音楽の出前授業を行う事業。今年度は11市町村で62コマを実施、1,731人の児童生徒が参加した。	—	1,731
劇場って楽しい！！				
7/20 (土) 演劇ホール	劇場って楽しい！！ 熊本公演	コンサート体験として区リコーダーカルテットがTV番組やCMなどに提供した楽曲の数々を披露。今年度も熊本大学教育学部特別支援教育教員養成課程の学生を受け入れ、ビッグアイによる振り返り研修を行った。 【取材:熊日】	[自由] 500	400
7/21 (日) 天草市民センター	劇場って楽しい！！ 天草公演	障がいを持つ方の鑑賞機会の拡充を目指して県立劇場以外の公演地では初めての開催。前日の熊本公演と同様に栗コーダーカルテットによるコンサート体験を実施した。劇場に来ること自体が初めてという来場者もいる中、アンコールの拍手が沸き起こるなど盛り上がりを見せた。	[自由] 500	170
みんなで踊ろう！				
R7.1/25(土)、 26(日) 演劇リハーサル室	みんなで踊ろう！ ～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～	昨年に引き続き、障がいの有無に関係なく参加できるダンスワークショップを実施。ダンサーの藤原美加を講師に迎え、計3回のワークショップを行った。各参加者の障害の有無・程度は違うものの、講師やアシスタントらの声掛けや見守りによりトラブルもなく、思い思いにダンスを楽しんでいた。	[参加費] 500	83
普及拠点事業 2) 計				2,394

【点検・調査結果及び評価】

令和6年度は、改修工事による休館もなく、年間を通して質の高い実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供。実演芸術を担う人材の育成・確保を行う事業や、県内各施設や関係機関との連携強化にも重点的に取り組んでおり、事業計画どおりに適正な運営がなされている。

また、県より委託をした追加事業も適正に実施しており、観客から高い満足度を得ている。

	入場者 参加者
創造拠点事業 (1)	8,813
(2)	14,077
(3)	3,055
創造拠点事業 計	25,945
普及拠点事業 (1)	12,571
(2)	2,394
普及拠点事業 計	14,965
総 計	40,910

3 施設の利用状況

施設名		令和6年度計	令和5年度計	前年度比
	開館日数	335	335	0
コンサートホール	利用可能日数	276	208	68
	利用日数	214	169	45
	利用率	77.5	81.3	▲3.8
	入場者数	182,221	125,281	56,940
演劇ホール	利用可能日数	269	209	60
	利用日数	224	182	42
	利用率	83.3	87.1	▲3.8
	入場者数	115,753	89,182	26,571
大会議室	利用可能日数	310	217	93
	利用日数	155	113	42
	利用率	50.0	52.1	▲2.1
	入場者数	20,560	14,641	5,919
和室	利用可能日数	327	227	100
	利用日数	74	71	3
	利用率	22.6	31.3	▲8.7
	入場者数	1,384	1,549	▲165
音楽リハーサル室	利用可能日数	322	225	97
	利用日数	230	172	58
	利用率	71.4	76.4	▲5.0
	入場者数	16,750	12,956	3,794
演劇リハーサル室	利用可能日数	322	227	95
	利用日数	178	134	44
	利用率	55.3	59.0	▲3.7
	入場者数	11,029	9,136	1,893
第1練習室	利用可能日数	326	227	99
	利用日数	165	109	56
	利用率	50.6	48.0	2.6
	入場者数	11,400	8,431	2,969
第2練習室	利用可能日数	323	227	96
	利用日数	218	165	53
	利用率	67.5	72.7	▲5.2
	入場者数	5,334	5,479	▲145
第3練習室	利用可能日数	326	227	99
	利用日数	260	149	111
	利用率	79.8	65.6	14.2
	入場者数	7,954	5,544	2,410
その他の入場者数	入場者数	86,840	60,376	26,464
入場者数 合計		459,225	332,575	126,650

【点検・調査結果及び評価】

・令和6年度は、全国の劇場・音楽堂等が連携し、7都市8公演で実施された「ラ・ボエーム」への参画や、県の追加委託事業の実施、市町村ネットワーク事業の集客回復により、入場者数は令和5年度と比較し、大幅増となった。

・利用率は、令和5年度が約4か月間の貸出停止期間があったため、開館期間に利用が集中し、利用可能日数に対する利用日数(利用率)は増加した。令和6年度は、通常の運営だったため、令和5年度と比較すると利用率は減少したが、両ホールとも目標率は達成している。

【ホール部分利用実績】

(単位：件)

利用部分	コンサートホール		演劇ホール	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
ステージのみの使用	13	14	11	8
ステージ1階(地階)客席、 ホワイエのみの使用	17	23	9	6
ホワイエのみの使用	29	21	8	3
合計	59	58	28	17

4 管理運営経費の収支状況

① 収入		
項目	内 訳	金額(円)
指定管理委託料等	管理業務受託収入	427,866,000
基本財産運用収入	基本財産利息収入	800
特定資産運用収入	特別企画事業積立資産利息等	9,394
事業収入	創造拠点事業収入、普及拠点事業収入等	45,812,356
事業受託収入	事業受託収入	38,470,000
制作受託収入	制作受託収入	11,892,896
広告料収入及び事業協賛金収入	広告料、協賛金	1,105,000
補助金等収入	団体助成金収入	24,172,750
寄付金収入	寄付金収入	0
雑収入	受取利息収入、雑収入	12,706,707
特定資産取崩収入	特別企画事業積立資産取崩収入等	34,000,520
財務活動収入	財務活動収入	0
前期繰越収支差額		51,472,717
合 計		647,509,140

② 支出		
項目	内 訳	金額(円)
管理業務支出	人件費支出、維持管理、物件費	405,823,645
文化事業費支出	創造拠点事業費、普及拠点事業費	156,514,844
投資活動支出	特定資産取得費、固定資産取得費	21,410,568
財務活動支出	リース債務返済支出	3,119,173
次期繰越収支差額		60,640,910
合 計		647,509,140

【点検・調査結果及び評価】

- ・指定管理委託料については、県と(公財)熊本県立劇場との協定に基づいた(公財)県立劇場の管理運営費、文化事業費に充てており、事業運営は適正に行われている。
- ・国等の助成金や企業の協賛金、代行手数料等の指定管理委託料以外の収入確保に努め文化事業等に充当するなど、文化事業の充実にも努めた。

【使用料の収納実績】

(単位：円)

月	要収入額	収入済額	収入未済額	摘要
(R6) 4	17,295,040	16,953,340		
5	13,982,450	12,630,220		
6	13,782,130	11,882,540		
7	15,983,810	18,647,540		
8	14,311,060	15,240,850		
9	14,037,970	14,037,970		
10	21,220,480	21,220,480		
11	18,486,190	18,486,190		
12	20,975,640	20,975,640		
(R7) 1	13,749,560	13,749,560		
2	13,629,070	13,629,070		
3	17,482,390	17,482,390		
(4)	1,183,600	1,183,600		
年度計	196,119,390	196,119,390	0	うち使用者に返還4件 142,475円

【点検・調査結果及び評価】

- ・年間を通して、使用許可及び収納事務は適正に行われ、収入未済なし。
- ・施設利用のキャンセルに伴う返還業務もあったが、適切に処理されている。

5 利用者調査結果

(主催者)

調査 実施 内容	調査年月日	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
	調査方法	施設利用者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施		
	調査対象数	17団体		
評価項目(4段階評価)			満足度(平均値)	
			6年度	5年度
1 利用料金について(4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い)			2.3	2.7
2 利用手続きについて(4:円滑 3:概ね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑)			3.7	3.5
3 フロア職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.9	3.8
4 舞台職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.9	3.9
5 舞台・音響・照明の設備について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.8	3.9
6 また利用したいと思うか (4:ぜひ利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:利用したくない)			3.9	3.9
計			3.6	3.6
利用者からの 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・要望や相談に丁寧に対応いただいた。細部にも気づいてくださり、都度お手伝いいただいた。ありがとうございます。 ・担当をはじめ、職員の方に親切な対応をいただき、気持ちよく利用できた。 ・急な変更(椅子やマイクの使用)にも対応していただき、助かった。 			
【調査結果及び評価】				
・例年同様の結果であり、利用者に寄り添った運営に努めており、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。				

(入場者)

事業名	回答率 (%)	満足度 (%)
佐渡裕指揮新日本フィルハーモニー交響楽団	16.7	99.2
La Mère 母	30.2	96.2
劇場って楽しい!! (熊本公演)	26.8	99.0
第66回芸文祭オープニングステージ「ひこばえ」	36.9	98.5
絵本の時間だよ!	7.7	95.6
全国共同制作オペラ「ラ・ボエーム」	24.1	99.6
小曾根真ピアノ・ソロ 2024	29.9	99.5
パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツカンマーフィルハーモニー管弦楽団	22.5	99.5
ホワイエサロンコンサート vol.8 県立劇場 40周年記念カルテット	44.9	98.6
ホワイエサロンコンサート vol.9 Ensemble Horizonte	68.5	98.4
ホワイエサロンコンサート vol.10 カルテット・スピリタス	50.6	100.0
金子三勇士ピアノリサイタル	38.5	99.5
行くぜ! 劇場探検隊	100.0	100.0

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
<p>・チケットサイトでは公演情報の詳細を確認することができないため、県立劇場ホームページの公演情報が閲覧できるようにしてほしいとの意見が寄せられた。</p>	<p>・仕様の都合でチケットサイト自体のカスタマイズは難しいが、公演詳細画面にホームページの URL を貼るように対応することで改善する旨を説明し、今後はチケット販売登録の際に、公演情報の URL を貼るよう職員に共有し実施している。</p>
<p>【調査結果及び評価】</p> <p>・利用者からの意見に対して、組織内で情報共有を行うとともに、適切な対応をとることで利用者の利便性に配慮することに努めている。</p>	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
特になし	

8 その他

熊本県立劇場条例に定める公の施設の設置目的等の達成度

【評価の基準】

- A：持続・更なる向上が期待できる状態
- B：ステップアップが望まれる状態
- C：見直しが必要な状態
- D：抜本的な見直しが必要な状態

【選定の特例（非公募）を適用する目的となった重点的な評価項目の達成度】

（1）人材の育成、確保

■評価項目①：実演芸術を担う人材の育成、確保

評価	理由
A	<p>県内の実演芸術を担う人材を育成・確保するため、「劇場人育成プログラム」により、アートマネジメントや舞台技術分野に関する研修を実施し、県内公共ホール職員の知識や技術の専門性向上を図った。また、青少年を対象とした「舞台技術の基礎講座」では、青少年が専門的な舞台技術を学び、体験できる講座として定着してきており、令和6年度は18名が受講した。</p> <p>過去にアートマネジメントの研修を受講した人材を演奏家派遣アウトリーチ事業のコーディネーターとして登用したほか、主催公演のフロント業務に民間のアートマネジメント人材を活用。舞台技術においても、演出に応じて最大5名まで配置するなど、人材の活用促進や環境整備にも取り組んでいる。</p> <p>将来の実演芸術を担う青少年育成に関しては、音楽団体と連携し実施する「ジュニアオーケストラ事業」や、東京藝術大学と連携し音楽家を目指す子どもの育成を行う「早期教育プロジェクト」も継続して実施。青少年を対象に幅広く演奏の機会を提供した。</p> <p>また、伝承芸能を継承するための支援では、「第66回熊本県芸術文化祭オープニングステージ」で国重要有形民俗文化財の宇土雨乞い大太鼓をモチーフにした舞台を制作・発表しており、伝承芸能に触れる機会を提供した。</p> <p>他にも、演奏家アウトリーチ事業で県内出身・在住の若手アーティストを起用するなど、演奏家の演奏機会創出や育成にも取り組んでいる。</p>

（2）関係機関等との連携

■評価項目②：実演芸術の振興のための県内各施設や関係機関との連携

評価	理由
A	<p>県内全域の文化振興と舞台技術のレベルアップのため、熊本県公立文化施設協会加盟館33館を県北、県央、県南の3ブロックに分け、地域ごとの課題を主体的に研究・解決することを目的としたブロック会議、研究会の実施や、県外施設からの視察の受入れ等を行っている。他にも、清和文楽新作制作実行委員会に参加し、企画・制作の支援や、芦北町及びこども本の森熊本が実施する演奏会に演奏家を派遣し、当日の音響等のサポートも行うなど、実演芸術の企画・制作を支援している。</p> <p>市町村ネットワーク事業（R6実績：13公演）や演奏家アウトリーチ事業（R6実績：11市町村62コマ）では、県内公共ホール等と連携し、県内各地で音楽や演</p>

	<p>劇等の公演、実演芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>県内公共ホールに対しては、業務管理・自主文化事業・舞台技術等の研修を実施するとともに、各分野の専門家を講師に招く研修を9回実施した。</p> <p>また、豊富な知識やネットワークを活かし、県文化協会や教育委員会、学校、福祉団体等と連携・協力した催事等の企画運営にも取り組んでいる。インターンシップ等を積極的に受け入れる「くまもとキャリア教育応援団」にも登録し、令和6年度は熊本県立大学など5校からインターンシップや職場体験を受け入れた。</p> <p>令和6年度は、5月に熊本交響楽団と、2月に九州交響楽団と包括連携協定を締結し、県内の文化振興促進のための共同企画・共同事業等に取り組むこととしている。</p>
--	--

【運営方針に定める項目の達成度】

(1) 質の高い事業の実施

■評価項目①：質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	<p>運営方針や県立劇場へのニーズに基づき、前年度10月頃に年間公演プログラム案を策定。個々の事業については、目標や目的、広報計画等を盛り込んだ実施計画書を作成し、事業を推進した。</p> <p>令和6年度は、工事休館もなく、1年を通して予定されていた全ての事業を実施し、「佐渡裕指揮新日本フィルハーモニー交響楽団」や「パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団」といった国内外のクラシックコンサート、全国共同制作オペラ「ラ・ボエーム」への参画、「第66回熊本県芸術文化祭オープニングステージ ひこばえ」といった伝承芸能など、質の高い実演芸術に触れる機会を提供した。</p>

■評価項目②：特色ある自主企画事業の実施

評価	理由
A	<p>県芸術文化際のオープニングステージで、宇土の雨乞い大太鼓をモチーフにした舞台を実施した。また、全国7都市の劇場・音楽堂との共同制作オペラ「ラ・ボエーム」に参画。7都市8公演すべてが完売し、九州では唯一の参画だったため、熊本公演には県外から多数来館した。助成団体の事後評価でも最高評価であるS評価を獲得するなど、大きな成果を挙げた。</p> <p>また、ホワイエのみを使用した「ホワイエサロンコンサート」では、間近で生の演奏や公演を楽しむことができ、料金も安価なため、より気軽に実演芸術に触れる機会を提供している。令和6年度は自主事業として、熊本大学教育学部と連携しドイツから現代音楽アンサンブルを招聘するなど、3公演を実施し、いずれも好評を得た。</p> <p>パッケージ公演（制作団体から一定価格でステージを買い取る「買い公演」）では、コンサートと演劇の2つの専用ホールを持つ劇場として、多彩な公演を実施。観客満足度はすべて95%を超えており、創造性・企画性の高い公演を積極的に実施している。</p>

(2) 普及啓発

■評価項目③：児童、生徒、学生等に対する質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	県立劇場主催公演において、25歳以下の学生料金の設定や、年齢による入場制限がある公演では託児サービスを提供している。 親子向け鑑賞プログラム「絵本の時間だよ！」や、子ども向けのワークショップ「古家優里ダンスワークショップ」、芝居仕立てのバックステージツアー「行くぜ！劇場探検隊」を実施。教育委員会・学校へDM等を活用した積極的な広報を行い、児童生徒等が実演芸術に触れる機会の創出に取り組んでいる。 また、児童養護施設の子ども及び里親家族を対象に、主催公演に招待する「ぴっころシート」事業も実施。令和6年度は6公演に122人を招待した。

■評価項目④：実演芸術の理解を一層深めるための付随事業の実施

評価	理由
A	県立劇場主催公演の際は、作曲家によるプレトークや出演者によるレッスンといった付随事業の実施など、公演についての鑑賞者の理解が深まるよう取り組んでいる。令和6年度は、「ホワイエサロンコンサート vol.9」で、作曲家の稲森安太己氏による作品や作曲技法を解説するプレトークを実施、同コンサートの「vol.10」では、出演者4人を講師にサクソフォンレッスンを開催し、7組11名が参加した。 また、館内の図書コーナー「光庭文庫」に舞台芸術に関連した図書を展示しているほか、県立図書館の協力を得て、公演をより楽しむための図書リストの配布や展示を実施しており、初心者等にも興味を引くような様々な工夫を行っている。

■評価項目⑤：アウトリーチ事業の実施

評価	理由
A	小中学生を対象とした「演奏家派遣アウトリーチ事業」は、11市町村で計62コマを実施。実施にあたっては学校、市町村教育委員会、ホールと連携して進めた。また、中長期でアウトリーチ事業を増強しており、アウトリーチ事業を担う外部コーディネーターの確保・育成やスキームの見直しを実施している。 このほか知的・発達障がいがある人たちで組織する「オハイエ音楽隊」とその指導者を対象に、県内在住の作曲家によるワークショップも実施した。

■評価項目⑥：国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携

評価	理由
A	県芸術文化際のオープニングステージで、県出身の前田順康氏（太鼓芸能集団「鼓動」）を演出に起用し、企画当初から密に連携することで充実した舞台づくりにつなげた。 ほかにも、「ホワイエサロンコンサート」シリーズ、「演奏家派遣アウトリーチ事業」、「行くぜ！劇場探検隊」、「あかちゃんとダンス!」、「県劇盆踊り」「芸術家派遣コーディネーター事業」等において、県在住・出身アーティストを起用し、本県の実演芸術の振興全般にわたり、国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携を積極的に進めている。

■評価項目⑦：日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための工夫

評価	理由
A	<p>文化芸術や劇場への関心喚起を目的とした「バックステージツアー事業」を学校や近隣施設等の要望に合わせた多彩なプログラムで計 6 回実施し、121 人が参加した。</p> <p>また、令和 4 年度から継続している「明後日朝顔プロジェクト」では、専門学校生や地域住民と協働で種まきを行うなど、地域との連携を強化した。地域に開かれた『共生の劇場』として、地域住民が気軽に立ち寄れる場を創出することを目的に「県劇盆踊り」も継続して実施しており、日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための事業を積極的に行っている。</p> <p>併せて、舞台上で車椅子利用者がスムーズにひな壇に上げられるようスロープを設置したり、公式ホームページの施設案内に 360 度パノラマビューを公開したりと、来館者の利便性、快適性を高める工夫も行っている。</p>

(3) 経営の安定化

■評価項目⑧：協賛企業の確保等、多様な財源の確保

評価	理由
A	<p>自主事業の財源に関しては、文化庁の勉強会への参加や、審査機関の日本芸術文化振興会へ積極的に情報を取りに行くことで、劇場全般の課題やトレンドを上手く事業に盛り込み、多様な財源（助成金）を確保している。</p> <p>令和 6 年度は、地元金融機関からの協賛金や、文化庁の「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」、「子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」、「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の助成金 23,872 千円を獲得したほか、県労働局の「両立支援等助成金」で 300 千円を獲得。文化事業の資金に充て、質の高い舞台芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>また、プレイガイド業務等の代行業務や舞台備品等の法人備品の貸出しについては、営業活動の成果も見られ、令和 6 年度は 12,249 千円（前年度比 119%）と過去最高額の雑収入を得た。</p>

■評価項目⑨：公演実施者及び鑑賞者の拡大に向けた取組みの実施

評価	理由
A	<p>チケット販売については、事業担当者が広報計画を立て、広告や SNS 等での広報のほか、公演の特性に合わせた営業活動を行い、販売収入拡大に取り組んでいる。加えて、ホールの部分利用を活用し公演規模や利用者のニーズに合わせた施設の使い方の提案も実施しており、利用率の向上に取り組んでいる。</p> <p>また、公演のサポート担当者が、主催者との打ち合わせにおいて代行業務を提案したり、鑑賞者の駐車場確保のため、満車が想定される日には、ホームページで事前周知やリアルタイムでの情報更新を行うなど、利便性を高める取組みも行っている。</p> <p>ファン獲得のため、SNS を活用し劇場活動を積極的に発信。掲載写真を工夫し、定期的に投稿することですべての SNS で登録会員数が増加した。ほかにも、季刊誌「ほわいえ」の発行や、主催事業のチケット先行予約会員（令和 7 年 3 月末時点 17,043 人登録、令和 6 年 3 月末比 2,063 人増）向けに主催事業のチケット先行予約販売を行うなど、初心者呼び込みとともに、リピーターを増やすための具体的な取組みを実施している。</p> <p>自主事業の実施の際は、入場者へアンケートを実施（R6 実績：13 公演）し、貸館事業においては、講演終了後に施設利用者へアンケートを実施（R6 実績：17 団</p>

	<p>体)している。アンケートの結果は、次年度以降の自主事業の参考にしたり、改善すべき点を分析して次回以降の円滑な利用に繋げるなど、入場者や施設利用者のニーズを事業に反映している。</p> <p>また、利用者アンケートによる「利用料金が高く、気軽にホールを利用できる料金プランが欲しい」との要望から、令和3年度に開始したホールの部分利用については、令和6年度は87件（前年度比12件増）の利用があり、定着してきている。</p>
--	---

(4) 安全管理

■評価項目⑩：災害時等における事業継続計画の策定、避難訓練等の実施

評価	理由
A	<p>事業継続計画書（BCP）の全面改訂を令和6年7月に実施。施設の特性を踏まえて策定された「熊本県立劇場危機管理マニュアル」も随時見直しを行うとともに、定期的な訓練によりスタッフへのマニュアルの徹底を図り、訓練等により得られた知見に基づき、マニュアル内容の点検や見直しを実施している。</p> <p>なお、定期的な訓練としては、心肺蘇生・AED基礎講習や消防訓練・避難訓練、外部講師による情報セキュリティの危機管理研修会、熊本市防火、防災管理に関する甲種防火管理講習の受講等（令和7年3月末の資格取得者数：17名）を実施している。</p>

■評価項目⑪：災害等の非常時における避難者への対応

評価	理由
A	<p>従来の危機管理マニュアル及びBCP対応マニュアルを改訂し、劇場来館時に災害等の非常事態により帰宅が困難になった者や緊急に避難が必要となった者の受け入れを行い、情報提供等の支援を行う体制が整備されており、職員への周知も実施している。</p>

(5) 適切な評価基準の設置と事業評価の実施、翌年度計画への確実な反映

■評価項目⑫：自己評価の実施

評価	理由
A	<p>評価の客観性を高める取り組みとして、施設利用者や入場者へのアンケート実施のほか、県内の有識者6名で構成する文化事業評価委員会を設置し、委員には自主事業の視察とレポート提出を依頼、年2回の評価委員会で意見を聴取するとともに、次年度の事業に反映をしている。また、館内にご意見箱を設置し「お客様の声」を、ホームページ内では「みなさまの声」を収集するなど、多方面から様々な意見を集め、自己評価を行い、評価の客観性を高める取組みを行っている。</p> <p>併せて、自主事業ごとにPDCAサイクルに則った事業評価シートを作成し、当該事業の評価項目（全13項目から抽出）の達成状況の評価。さらに自主性、芸術性、広報・集客、採算性等の観点から事業全体を評価したうえで、改善策の検討と今後の取組方針（継続・拡大・縮小・廃止等）をもとに、課題を明確にして次年度以降の企画に反映するなどの調査研究も行っている。</p> <p>令和6年度から、新たにアニュアルレポートを作成し、当該年度の事業の振り返りや各種データ分析に活用するとともに、次年度以降の事業計画・目標に反映している。</p>

■評価項目⑬：県の事業評価結果の事業計画への反映

評価	理由
A	前年度の県の事業評価結果で改善が必要とされた事項はなく、全体的に更なるレベルアップのための取組みを講じている。